

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月20日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00744.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月20日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月20日）

令和8年10月20日(火曜日)

教育、科学技術・学術、文化

キーワード

H3ロケット10号機による火星衛星探査機「MMX」の打上げ成功、東京大学総長選考・監察会議等に対する次期総長選考プロセスの検証依頼、東大総長選考・監察会議に求められる十分な説明責任の基準、東京都議会による「23区規制」の撤廃を求める意見書提出の受け止め、学术论文のオープンアクセス化に向けた現状の認識と今後の対応方針、生活文化分野での初の「人間国宝」認定の受け止めと認定者への期待およびコンテンツ産業としての「生活文化」の位置づけ、日本原子力人財コンソーシアムにおける文部科学省の役割および今後の取組

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年10月20日（火曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年10月20日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月20日）

YouTube字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00744.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00744.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: https://www.youtube.com/watch?v=YBN_ipIVin4

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-10-20T10:30:03.397987+00:00

[00:00:00] はい。え、では私から冒頭2件、え、報告
[00:00:04] をさせていただきたいと思います。え、
[00:00:07] まず1件目でございます。え、本日20日
[00:00:09] 火曜日H3ロケット15機によります火星
[00:00:14] 衛生探査MMXこの打ち上げに成功を
[00:00:17] いたしました。
[00:00:20] 関係者の皆様のご人力に深く経緯を表し
[00:00:23] たいと思います。え、今回打ち上げました
[00:00:27] MMXは世界初となる火からのサンプル
[00:00:32] リターンを目指す挑戦的なミッションで
[00:00:35] ございます。え、本ミッションを通じまし
[00:00:38] て得られる成果が我が国の宇宙科学探査
[00:00:43] 技術の発展に貢献することを期待をいたし
[00:00:46] ております。え、今後、え、今後ともH3
[00:00:51] ロケットの打ち上げ実績を着実に、え、
[00:00:55] 積み重ねまして、え、信頼性の向上や価格
[00:00:59] 競争力の強化に向けました開発運用を
[00:01:03] 進めることで、え、国際競争力を強化し、
[00:01:08] え、我が国の宇宙開発利用の進展に大いに
[00:01:13] 貢献できるよう尽力してまいります。
[00:01:18] はい、それが1点目でございます。はい。
[00:01:22] え、2点目でございます。え、本日、え、
[00:01:28] 東京大学の幹事及び運営方針会議に対し
[00:01:33] まして、え、先般行われました総朝先行の
[00:01:37] プロセスに関しまして、え、検証を行って
[00:01:40] いただくよう高等教育局の文書により依頼
[00:01:45] をいたします。え、今回の東京大学の早朝
[00:01:50] 先行につきましては、あ、早朝先行観察

[00:01:54] 会議によりまず先行理由等についての説明
[00:01:59] も学内外から多くの疑問の声が上がって
[00:02:04] おりまして、10月13日には学内の教職
[00:02:08] 員有資の方々から幹事及び早朝先行観察
[00:02:14] 会議当てに、え、移行投結果の取り扱い
[00:02:20] 第2次補者5名の比較検討の状況
[00:02:25] その5名を選定した経緯
[00:02:29] 国際対卓越研究大学の構想やガバナンス
[00:02:34] 改革に関する評価
[00:02:37] 非公開情報やあ別の事案など
[00:02:41] 事実確認を要すること柄の取り扱いといっ
[00:02:46] た手につきまして説明を求める要望が提出
[00:02:50] されております。
[00:02:53] その指摘は重要な問題定期を含むもので
[00:02:57] ございまして、法人として重く受け止めて
[00:03:01] 対応いただくことが必要であると考えて
[00:03:04] おります。
[00:03:06] 文部科学省といたしましては、これまで
[00:03:09] 法人として説明責任を果たすことが重要で
[00:03:13] あります。
[00:03:14] 繰り返し述べてきたところでございまして
[00:03:17] 、10月16日には要望に対する早朝選挙
[00:03:22] 、観察会議からの回答が公表されました
[00:03:27] もものの、今なお先行家程や先行理由につい
[00:03:31] て、え、明確な説明がなされていないとの
[00:03:35] 声も多くでございます。
[00:03:39] 国立大学法人の運営にあたりましては自主
[00:03:43] 性、自立性を発揮し、大学内部の監督機能
[00:03:49] を活用しながら、あ、法人運営を自ら検証
[00:03:54] し、改善を図っていくことが重要でござい
[00:03:58] まして、今回の早朝選行に関しましても、
[00:04:03] その経緯に関する自立的な検証を行い、
[00:04:08] 説明責任を果たすことは東京大学の
[00:04:11] ガバナンス改革の第1歩であると考えて
[00:04:15] おります。
[00:04:17] 文部科学省といたしましては、え、こうし
[00:04:20] ました自立的なプロセスを促す観点から
[00:04:25] 学長先行を含め法人運営に関する監督機能
[00:04:30] を有する幹事及び運営方針会議に対しまし
[00:04:34] て、え、今回の早朝先行のプロセスに関し
[00:04:38] 、え、検証を行っていただくよう依頼をし
[00:04:43] たものでございまして、説明責任を十分に
[00:04:46] 果たして
[00:04:47] いただきます。はい、私からは以上でございます。
[00:04:56] ありがとうございます。そう、ではまず、あの、管事者から質問させていただきます。
[00:05:01] はい、どうぞ。
[00:05:02] と今の冒頭でもありましたので東大の早朝先行に関連してお伺いしますと先月のその結果
について先日東大の教職員の有の方々が説明を求める要望書を提出してそれについての回答が
[00:05:16] 16
[00:05:16] 日に出されたということなんですけれどもこの回答書についての受け止めに教えてくださ
い。
[00:05:22] はい。
[00:05:22] で、またですね、えっと、先ほど冒頭では、えっと、検証を依頼、検証するように依頼を

したということでしたが、えっと回答ではその説明を果たしたとは言えないということだと思うんですけれども、えと、どの辺りが不十分だったかとお考えるか教えてください。

[00:05:38] はい。

[00:05:39] え、今般の東京大学の早朝選行観察会議

[00:05:44] からの回答におきましては協議内容等に

[00:05:49] ついて保湿事項として取り扱う扱うことと

[00:05:55] 扱うあの取り扱うこととしたとことのみを

[00:06:00] 理由にえ外計的な先行家程の説明がなさ

[00:06:06] れるにとまっております。

[00:06:09] また回答には移行投票の結果をどう

[00:06:13] 受け止めるかについての議論の結果。

[00:06:18] 候補者の絞り込みや先行に至るまでの各

[00:06:23] 候補者に対する評価や比較。

[00:06:27] 国際卓越研究大学の構想やガバナンス改革

[00:06:32] に関する各候補者の考えや実績。それらに

[00:06:38] 対する評価、また個別事案に対する

[00:06:42] 取り扱いの内容などについて具体的な説明

[00:06:46] はなく、最終的な判断が早朝選行観察会議

[00:06:52] の委員による無期名投票により行われた

[00:06:57] ことを理由に

[00:06:59] 先行理由を各委員個別の判断に起し早朝

[00:07:04] 選行を観察会議とし

[00:07:07] どのように死体的な先行を行ったのか、それについて十分に明かされていないと考えております。はい、

[00:07:19] ありがとうございます。では各者さん、えっと、質問があればお願いいたしますと、質問の際は名党市名を守ってからお願いします。

[00:07:29] あ、はい。どうぞ。

[00:07:34] 日本経済新聞のです。

[00:07:36] よろしくをお願いします。

[00:07:36] よろしくをお願いします。

[00:07:38] え、10月8

[00:07:39] 日に、え、東京都議会がいわゆる

[00:07:41] 23

[00:07:42] 区規制の撤廃を求める意見書を可決しました。

[00:07:45] はい。

[00:07:45] え、意見書は規制開始後も地方大学への進学状況に変化がないこと、あと規制の効果を疑問にする意向を大学運営や若者の進学先選択の面で弊害が出ていると指摘しています。

[00:07:59] え、規制の継続の是非を巡って政府内での議論を本格化してますが、都議会の決議を受けての大臣の見解を教えてください。

[00:08:07] はい。

[00:08:08] え、東京23区のあの大学におけます定員

[00:08:12] の抑制を含む地方大学産業創生法の今後の

[00:08:19] あり方につきましては、え、内閣官房が

[00:08:23] 設置をいたしました、あ、有識者会議に

[00:08:25] おきまして検討が進められているところで

[00:08:28] ございます。[鼻息]東京都議会において

[00:08:32] 意見書が可決されたことは承知しており

[00:08:35] ますが、まずは有識者会議におきまして、

[00:08:40] え、議論を尽いたいと考えております。

[00:08:43] 文部科学省としても当該議論を中止をして

[00:08:47] まいりたいと思っております。はい。

[00:08:51] はい。はい。どうぞ。

[00:08:55] 科学の方と申します。よろしくお願いします

[00:08:57] ます。

[00:08:58] あの、先日モーベル科学省井先生が受賞したんですけども、その、あの、受賞院になつて
る

[00:09:04] 2005

[00:09:04] 年のネイチャー口文その場で検索して呼ぼうと思ったんですけども、

[00:09:09] あの、オープンアクセスになってないため、あの、アブストラクトしか読めないという状
況になります。

[00:09:14] あの、これ一例なんですけども、日本は欧米と比べてオープンアクセスが進んでないため
に、あの、研究成のビジビリティが低い条件になです。

[00:09:23] はい。

[00:09:23] こうした現状についての大臣の問題認識等、あの、この取について教

[00:09:28] はい。はい。

[00:09:30] え、ご指摘の通りでございまして、え、論文等のオープンアクにおいては海外の出版社へ
の経済量及び高毒量の高等や大学の期間リポジトリの論文性の弱さなどの課題があると認識をしま
す。

[00:09:51] え、政府といたしましては令和6年2月に

[00:09:55] 策定がなされました学術論文等の即事

[00:09:58] オープンアクセスの実現に向けた基本方針

[00:10:01] に基づきまして、え、取り組みを進めて

[00:10:04] おります。具体的には、え、1つには家費

[00:10:09] 等の成果であります学論文及び根拠データ

[00:10:13] の即事オープンアクセスの導入。え、2つ

[00:10:17] には大学研究機関の情報基盤等の充実強化

[00:10:22] のため令和5年度補正予算100億円を

[00:10:26] 設置をして、え、措置をいたしまして

[00:10:29] オープンアクセス加速化事業を推進する

[00:10:33] ことで3つ目には約200の大学機関があ

[00:10:38] 、参加をいたします世界的な大規模出版社

[00:10:41] との交渉体制の構築の支援、え、これらを

[00:10:47] 行いまして一定の成果を上げつつあります

[00:10:50] 。また、我が国の研究成果の国内外の情報

[00:10:54] 基盤における貸視化。ま、これを進めます

[00:10:58] ために大学等の期間リポジトリに、え、

[00:11:02] 搭載をいたしました、あ、研究成果につい

[00:11:05] て我が国の[鼻息]、え、中的な研究

[00:11:08] データ基盤を通じて、え、海外の検索基盤

[00:11:13] との連携、え、これを進めております。

[00:11:17] 文部科学省といたしましては、え、内閣府

[00:11:20] 大学等研究機関関係者等と連携をしつつ

[00:11:23] 学術論文のオープンアクセスを進めて

[00:11:27] まいりたいと思います。はい、以上です。

[00:11:31] 他よろし。はい、どうぞ。

[00:11:40] 新聞者のです。よろしく願いいたします

[00:11:42] 。議会は先日国の重要無文化罪として約

[00:11:48] 70年ぶりに追加された生活文化で立料理

[00:11:54] などを新たに指定し、人間として

[00:11:59] 家本池の池さんが3人を法としてそれぞれ

[00:12:05] するようにいたしました。はい。

[00:12:08] 我たの分野での初めての初めてのとなる人間国法が進されたことについての受け止めをお願い
いたします。

[00:12:15] はい。

[00:12:16] 合わせて3

[00:12:16] 名の方へ方々への機会、そしてその根本鉄産業の進行を掲げている政府の部科学省におい

てこの生活というものをどういう風に位置づけされているのかについてもお聞かせください。

[00:12:30] はい。

[00:12:31] え、先週16日にあの開催されました文化

[00:12:35] 審議会、文化財文化会におきまして、え、

[00:12:40] 生活文化の優れた技を持たれております3

[00:12:44] 名を重要向け文化財のかこ認定保持者に

[00:12:49] 認定することなどについて答信をいただき

[00:12:52] ました。

[00:12:55] え、今後漢保告事を経て、え、して認定

[00:12:59] することとなりますが、え、これは令和7

[00:13:02] 年度に重要向け文化財の指定認定基準に、

[00:13:07] え、生活文化が新設されて初めての指定

[00:13:11] 認定となり、え、大変大きな意義があると

[00:13:15] 考えております。え、認定される保持者の

[00:13:18] 皆様によります、後継者の育成を通じた技

[00:13:23] の継承や魅力発信の牽引を期待をしてる

[00:13:29] ところでございます。文部科学省といたし

[00:13:32] ましては、我が国の重要なコンテンツでも

[00:13:36] ございます生活文化の進行に向けまして、

[00:13:39] え、生活文化と他の文化芸術分野との

[00:13:42] 組み合わせによります新しい魅力や観光

[00:13:46] コンテンツの創失などに取り組んで

[00:13:49] いく所存でございます。以上です。はい、

[00:13:53] よろしいでしょうか?はい、どうぞ。

[00:13:58] 日本定義をしておします。はい。今月7日

[00:14:01] に、え、経済産業省が原子力分野人材確保

[00:14:05] と一定強化をした、え、日本原子力人材

[00:14:08] 高速案の、え、通称Jを設しました。え、

[00:14:12] 関係省庁として文化科学省が含まれてい

[00:14:14] ますが、この子における文科省の役割を

[00:14:17] どう認識されているのか、また文科書とし

[00:14:20] て力を入れて取り組むを教えてください。

[00:14:23] はい。

[00:14:25] え、原子力を持続的に、え、活用をいたし

[00:14:29] ていくためには産業会のニーズを踏まえ

[00:14:33] つつ、教育、研究を担いますアカデミアの

[00:14:37] 力を結収をいたしまして、あ、時代を担う

[00:14:41] 人材を継続的に育てることが不可欠だと

[00:14:45] 考えております。日本原子力人材

[00:14:48] コンソーシアム

[00:14:50] JR クですが、あ、ここでは今後原子力

[00:14:53] 人材育成に関する課題や対応の方向性に

[00:14:57] ついて、え、議論が行われて人材育成に

[00:15:01] 関するロードマップが策定されると承知を

[00:15:04] いたしております。[鼻息]文部科学省と

[00:15:07] いたしましては、アカデミアを中心とし

[00:15:10] ました未来に向けた先進的原子力教育

[00:15:13] コンソーシャム

[00:15:15] エネックのこの時期事業の制度の設計

[00:15:20] 多様なアカデミアとの連携を支える中核で

[00:15:23] あります。原子力研究開発機構について、

[00:15:27] え、研究施設や教育、え、研修等の人材

[00:15:30] 育成機能の一層の強化等についてJRのも

[00:15:36] で3額と連携しつつ取り組んでまいります
[00:15:40] はい、以上です。はい、よろしい
[00:15:44] でしょうか?はい、どうぞ。
[00:15:52] あ、すいません。NHK
[00:15:53] のと申します。よろしくお願いいたします。
[00:15:54] はい、よろしくお願いいたします。
[00:15:55] 先ほどの東大のあの先行の関係で総先行の關係の検証を求めるということだったんですけど逆にこうどうなれば説明責任を果たしたということが言えるのかってということでえっとあの東大の対応のうち何を持って明確な説明が出されていないってということなのか大臣としてこう
[00:16:15] 1
[00:16:15] 番引っかかっている点をちょっと教えていただければと思います。
[00:16:18] はい。そうですね。はい。はい。
[00:16:23] この文部科学書、ま、どのようにこう説明
[00:16:26] が、ま、必要と考えているのかというあの
[00:16:28] ご質問でございますけれども、ま、今般の
[00:16:32] 早朝先行におきましては、あ、学内外から
[00:16:36] 様々な意見が未だに出ていると承知を
[00:16:40] いたしております。ま、10月13日には
[00:16:44] 学内の教職員有資の方々から、あ、幹事情
[00:16:48] 及び学長先行観察会議当てに移行投票結果
[00:16:53] の取り扱い、また第二次、え、候補者5名
[00:16:57] の比較検討の状況、その5名を選定した
[00:17:02] 経緯、国際卓越研究大学の構想や
[00:17:06] ガバランス改革に関する評価、非公開への
[00:17:10] 情報や個別の事案など事実確認を要する
[00:17:14] 事柄の取り扱い、ま、といった点につき
[00:17:17] まして説明を求める要望が提出がなされた
[00:17:21] と考えており、あ、承知をいたしており
[00:17:23] ます。ま、その指摘は、ま、非常に重要だ
[00:17:27] と、あの、考えて私ども受け止めており
[00:17:31] まして、重要な問題定期がなされた
[00:17:36] 我、私ども受け止めて、え、おりまして、
[00:17:40] もう大学の方もこれを重く受け止めて
[00:17:44] いただく必要があると考えてる次第で
[00:17:46] ございます。
[00:17:49] え、ま、そこらその点を含めましてですね
[00:17:52] 、ま、東京大学において今後どのような
[00:17:55] 客観的な事実に基づいてどのように交者官
[00:18:00] を比較検討して今回の判断に至ったのか、
[00:18:04] こういった判断の合理性についてですね、
[00:18:07] え、十分に説明責任を果たしてって
[00:18:10] いただきたいと、そのように考えてる
[00:18:12] ところでございます。はい。
[00:18:17] はい。どうぞ。
[00:18:17] 場合によってはこう大学の自治を国が踏み越えていってる対応によりも言えますけどその辺りはいかがですか?
[00:18:25] はい。
[00:18:26] そこのところにつきましてですね、あの、ま、大学の実治ということについては我々はあの重要な大切なことだと、ま、考えております。
[00:18:38] で、我々も今回の[鼻息]あの
[00:18:43] 依頼をした形なるわけですが、国立大学
[00:18:47] 法人等に定められました、あの、幹事及び
[00:18:51] 運営方針の会議の権限と責任が、ま、適切

[00:18:55] に行使されるように、ま、商用するもので
[00:18:59] ございまして、え、文部科学大臣は、ま、
[00:19:03] このようなあの法律に、え、同方に基づき
[00:19:08] ました国立在法人の幹事を、ま、任命し
[00:19:12] たり、え、運営方針会議の委員の任命に
[00:19:16] 関しまして、ま、承認等を行ってるところ
[00:19:18] でございます。え、その任命責任等を全倒
[00:19:21] する観点からもですね、それぞれの職務が
[00:19:25] 適正に果たされるように務めていって
[00:19:28] いただくことは必要であると考えてる
[00:19:30] ところでございます。はい。え、追加で
[00:19:34] ですね、[鼻息]え、国立大学法事の、ま
[00:19:36] 、運営の点についてですが、自主性、
[00:19:40] そして自立性を、ま、発揮していただいて
[00:19:43] 、大学内部の監督機能を活用していただき
[00:19:49] ながら、法人運営を自らが検証して改善を
[00:19:54] 図っていただくことが重要であると考えて
[00:19:57] おります。え、今回の早朝選行に関しまし
[00:20:00] てもその経緯に関する事実的な検証を行っ
[00:20:03] ていただくこと、ま、法人のガバナンス
[00:20:06] 確保の観点から、あ、その点は最低限で
[00:20:10] あると、ま、考えてるところでございます
[00:20:12] 。はい、よろしいですか？
[00:20:17] はい、どうぞ。あ、すいません。
[00:20:19] 新聞のです。えっと、今の案件関係関連してなんですけども、
[00:20:24] と今NHK
[00:20:25] さんの人どうすれば説明席説明果たしたと言えるかというに対する回答が、あの教職の方々が出した要望書の内容の振り返ったかと思うんですけど、その要望書で書かれてる内容に対して満足のいくような回答があればそれを持って説明果たしたと捉えるってことでしょうか？
[00:20:47] うん。ま、あの、
[00:20:51] 大学文部科学省の方といたしましてはです
[00:20:55] ね、ま、これまでもその学長の先行家程や
[00:20:59] 先行理由については人事に関わります審議
[00:21:02] であることを、ま、考慮しつつですね、
[00:21:06] 学内外のステークホルダーに、対する説明
[00:21:09] 責任を果たして信頼性や透明性を確保する
[00:21:13] 観点からできる限り具体的な内容の公表に
[00:21:18] 務めて、え、務めていただきたいと、ま、
[00:21:21] 務めるべきとそのような考えを示して
[00:21:23] まいりましたので、え、やっぱりこの
[00:21:27] 学内外の人たちが未だにまだそのような
[00:21:31] 意見を言い続けているということにところ
[00:21:34] については我々はまだしっかりとした説明
[00:21:38] 責任が大学側の方でなさっていないと
[00:21:41] 受け止めざるを得ないと思います。はい。
[00:21:46] それと[鼻息]、ま、あの、具体的な
[00:21:50] ところにしますと、あのから申し上げます
[00:21:52] と、ま、この10月13日なんですけれど
[00:21:56] も、学内の教職員有資の方々から、え、
[00:22:00] 勘生日が、え、早朝先行の観察会議当てに
[00:22:05] [鼻息]移行投票結果の取り扱いや第二
[00:22:09] 次候補者5名の比較検討の状況、またその
[00:22:13] 5名を選定した経緯、国

[00:22:16] え、卓越大学を
[00:22:19] 卓越研究大学の厚生ガバランスに関する
[00:22:22] 評価や先ほど申し上げましたけども、
[00:22:24] 非公開の情報や個別の事案など事実確認を
[00:22:27] 要することの取り扱いについての、ま、
[00:22:30] 説明を要する要望があの提出されてること
[00:22:34] になって、また繰り返しになって申し上げ
[00:22:36] ますけども、東京大学においてはそれらに
[00:22:40] ついてどのような客観的な事実に基づいて
[00:22:43] 、え、どの[鼻息]ような交感
[00:22:45] を比較く検討して今回の判断に至ったかというこの判断の合理性について、ま、十分な説
明があのしていくことがまだ必要な状況にあるとあの受け止めております。
[00:23:00] ありがとうございます。
[00:23:01] はい。
[00:23:03] よろしいでしょうか？
[00:23:05] はい、どうぞ。究極何を持って説明、あ、
[00:23:08] それのことですけど、何を持って説明責任
[00:23:10] を果たしたかっていうところで言うと、ま
[00:23:11] 、究極にはもう疑似力の開示っていう
[00:23:13] ところを求めるのは結局なところだと思う
[00:23:15] んですけど、そこまでは大臣考えられてな
[00:23:17] いってことでしょうか？うん、ま、その
[00:23:20] ところについてはまず今日ですね、あの、
[00:23:24] 我々の方から大学側に、え、お話しに行く
[00:23:28] ところでございますから、その時に大学の
[00:23:30] 反応を持って、え、我々はまた再度あの
[00:23:34] 判断をしてまいりと思います。
[00:23:38] ありがとうございます。
[00:23:38] はい。
[00:23:40] よろしいでしょうか？
[00:23:42] よろしいですか？
[00:23:43] それでは会います。ありがとうございます。
[00:23:45] はい。どうもありがとうございました。